

気候原則： 金融セクターのためのフレームワーク

ビジョン

人類の活動から排出される温室効果ガスが、世界の気候変動の重大な要因であることは、国際的かつ科学的な共通認識である。これらの排出を削減できなければ、世界の気候に広範かつ不可逆な変化をもたらす可能性が高く、その変化は、人間社会、世界経済、および世界の自然システムに負の影響をおよぼすことになるだろうと、第一線の科学者と経済学者が予見している。

我々は、アドバイザー、貸し手、投資家、および保険業者としての業務遂行の中で、ファイナンス支援対象の個人、企業、およびプロジェクト、ならびに我々が保険を提供する顧客が、気候変動に関わるリスク、機会、および適応の必要性を理解し、対処するのを支援することで、先導者としての役割を果たす立場にある。この役割を担うために、我々は、専門性、商品、およびサービスを開発し、我々の顧客、およびパートナーがこれらの課題に取り組むのに備える必要がある。我々は、また、我々が業務上排出する温室効果ガスを最小化すべきであることを認識している。

我々は、気候変動は、以下のように対処されるべき一連のリスクと機会を提起しているものと、理解している：

1. 政府は、エネルギー政策と気候変動対応方針を統合したアプローチをとるべきである。；すなわち、大気中の温室効果ガス排出量を安全なレベルで確実に安定化できるよう、世界の第一線の科学者が推奨する対策を取るために十分に考慮して、炭素排出削減量の目標を設定し、その目標の達成を支援するメカニズムを構築すべきである。
2. ビジネス界は、炭素、および気候のリスクを理解し、それらに対処し、低炭素経済への移行を支援するための機会を追求するように、対応すべきである。
3. 個人は、自らのカーボン・フットプリントを削減すべく、責任感を持ち、自らの行動と購買における判断基準を変化させるべきである。

この文書が提示する原則は、以下の事項をコミットメントとして掲げる：

1. 我々の業務上のカーボン・フットプリントを最小化する
2. 気候変動リスクを削減し、気候変動に関連するビジネス機会を開発していくように、業務上の意思決定を行う
3. 我々の取引先が、気候変動関連リスクに対処し、ビジネスの機会を開発していけるような商品やサービスを開発する

4. 低炭素経済を実現する機会を模索するために、我々の取引先、納入業者、および広範な社会と協働する
5. 理にかなったエネルギー政策、および気候変動対応方針の立案を支援する
6. 我々のコミットメントの進捗状況を公開する

我々は、気候変動へ積極的なアプローチを取ることで、我々が低炭素経済における有力な金融機関の地位につくと、理解している。

我々が既に達成した事項

- 1.0 我々は、確固たる低炭素化戦略、または姿勢を有し、業務上の炭素排出を管理している
- 1.1 我々は、我々の活動による気候、および業務上の炭素への影響を削減するよう、どのようにビジネスを行うかを示す戦略、または姿勢を公表している
- 1.2 役員会レベルで決定した、気候変動に対する戦略、または姿勢についてのコミットメントを持ち、その担当役員を任命している。その担当役員は、組織全体で、そのコミットメントの実施に責任を持ち、そのコミットメントに則した意思決定がなされることを確かにする。その担当役員は、戦略、または姿勢に含まれたコミットメントの実現に見合う、必要な資源を確保している
- 1.3 我々は、業務上のかなりの割合の温室効果ガス排出量を、国際的に認められた手法、あるいは、それと同等な国内基準により測定し、その情報を公表している。
- 1.4 我々は、業務上の温室効果ガス削減のための、明白でやりがいがあり、かつ達成可能な目標を公表している。
- 1.5 我々は、気候変動に対処するというコミットメントについて、従業員と向き合い、コミットメントに合致するよう、従業員が積極的な役割を果たすよう支援している

以上の初期段階の取り組みは、気候変動に取り組み、我々自身の業務上の影響を管理するというコミットメントを明らかに示すものである。しかしながら、我々は、資金の流れを通して、気候変動リスクの管理、および低炭素経済化のための機会創出に、重大な影響を有しているので、さらなる取り組みを進めるべきであると認識している。我々はまた、我々の取引先、納入業者、およびより広範な社会と協働していくことをコミットする。

我々のコミットメント

- 2.0 我々は、商業的に実行可能なアプローチを開発し、これらのアプローチが我々のビ

ビジネス戦略、および業務活動に適用される場合、気候、および炭素の問題が対処されることを確かにする。

2.1 調査活動

2.1.1 我々は、気候、および炭素の問題を我々の調査活動に織り込み、適切な場合には、その成果を、我々の取引先、および顧客のために役立つ、商品、およびサービスを開発するために活用する

2.2 アセットマネジメント

2.2.1 我々は、適切な場合には、我々のアナリストが、炭素、および気候のリスク、ならびにそれらによるビジネス機会を、彼らの調査、および投資判断に織り込むことができるようにする

2.2.2 我々は、我々の顧客が、彼らの組織に関わる炭素、および気候変動のリスク、およびそれらのビジネス機会について理解するように取り組み、彼らがそれらのリスクに対処し、ビジネス機会を開拓することを支援する商品、およびサービスを開発する

2.2.3 我々の受託者責任に一致する場合には、我々の顧客が投資している企業に関与し、それらの企業がどのようにリスクを最小化し、気候変動、および気候変動対応政策により提示されたビジネス機会を最大限にしつつあるかを理解する。我々は、また、それらの企業が気候リスクとビジネス機会のガバナンス、および情報開示を強化するように促す

2.3 リテールバンキング

2.3.1 我々は、以下について理解するために調査を実施する：

- 1) 気候変動の潜在的な影響と、我々の取引先に役立つ気候変動対応方針；
- 2) これらの影響に対処する、我々の取引先の意欲；
- 3) 取引先が、これらの影響に対処するのに必要とする商品、およびサービス、ならびに影響に対処する上での障害；
- 4) 我々の取引先が、いかにして温室効果ガスの排出を管理するかについての意識を高め、また、カーボン・フットプリントを削減するために必要なアプローチ

2.3.2 我々の取引先についての、我々の理解に基づき、我々は、商品、サービス、コミュニケーション・取り組み戦略を開発し、我々の取引先が潜在的な影響に対処し、カ

ーボン・フットプリントを削減できるようにする

2.4 保険、および再保険

- 2.4.1 我々は、我々の取引に関連する炭素、および気候のリスク、ならびに、それらが我々のビジネスに対して与える金融への影響を評価するために、必要な知識、スキル、およびツールを開発する
- 2.4.2 我々は、我々の顧客が気候変動をより深く理解し、気候変動に対応することを支援するためのリスク評価手法を開発する
- 2.4.3 我々は、保険商品、およびサービスを開発し、我々の取引先が炭素、および気候のリスクを削減することを促し、温室効果ガス低減技術と戦略の開発、およびその導入、ならびに、炭素市場の活用を支援する

2.5 コーポレートバンキング

- 2.5.1 我々は、我々の顧客に関連する炭素、および気候のリスクの、金融への影響を継続的に評価するプロセスを開発、および実施し、ならびにこの評価を実施のために従業員の研修を行う
- 2.5.2 我々は、我々の投融資活動が持つ炭素、および気候のリスクを評価するための実務的な手法を検討する。実施可能かつ適切な方法論が見つかった場合には、我々はそのアプローチを開発し、実施する
- 2.5.3 我々は、我々の顧客が、彼らのビジネスに関連する炭素、および気候のリスク、ならびにそれらのビジネス機会を理解するように取り組む。その取り組みには、これらのリスクを管理する戦略を策定し、カーボン・フットプリントを計量、および開示し、ならびに、炭素排出量削減のための有意義な目標値を設定するように、我々の顧客に促すことを含む場合がある
- 2.5.4 我々は、低炭素化技術、および温室効果ガス削減のプロジェクトへの投資を促進するための、金融によるソリューションを開発する

2.6 投資銀行業務、および市場取引

2.6.1 コーポレートアドバイザー

我々は、我々の顧客のビジネス取引に関連する炭素、および気候のリスク、ならびにそれらのビジネス機会の、金融に与える潜在的な影響について、我々の顧客にアドバイスするために必要な知識、ツール、およびスキルを開発する

2.6.2 ストラクチャードレンディング、およびベンチャーキャピタル

我々は、低炭素化技術、および温室効果ガス削減のプロジェクトへの投資を促進するための、実行可能な金融によるソリューションを開発する

2.6.3 トレーディング

我々は、排出量取引、天候デリバティブ、再生可能エネルギークレジット、および、その他の気候関連商品を支援するための専門知識を開発し、これらの商品の普及に建設的な役割を果たすやり方を模索する

2.7 プロジェクトファイナンス

逸脱についての正当な説明がなされる場合を除いて、年間10万トン相当のCO₂（自らの直接排出源からの排出量、および消費するために購入する電気に関連する間接排出源からの排出量の合計）を排出する、あるいは排出が見込まれるプロジェクトについて、我々は、顧客に以下を要求する：

- 2.7.1 プロジェクトに関連した温室効果ガスの排出を、プロジェクトの業務、およびその影響の、性質、および規模にふさわしい方法で削減する可能性を追求する
 - 2.7.2 温室効果ガスの直接排出量と、プロジェクトによって使用されるオフサイトでの電力生産に関連した間接排出量を定量化し、公表する
 - 2.7.3 国際的に認められた方法論に則って、温室効果ガスの排出量を、年次でモニターし、報告する
 - 2.7.4 プロジェクトの設計、および操業の期間に、プロジェクト関連の温室効果ガスの排出を削減、または相殺するために、技術的、および財務的に実施可能なオプションを検討する
- 3.0 公共セクターの取り組みについて、我々の企業ポリシーと一致する場合は、低炭素経済の成長を支援するために他社と協働する
- 3.1 我々は、気候変動について意識を高め、また、温室効果ガスの排出を削減する可能性を高めるために、取引先、納入業者、従業員、およびその他のステークホルダーからなるネットワークを通じて、情報を普及させる
 - 3.2 我々は、重要な納入業者と気候変動問題について話し合い、サプライチェーンを通じて温室効果ガスの排出を削減できるよう協働する
 - 3.3 我々は、気候変動への対処は、自発的な活動だけで解決できるものではないと認識し、温室効果ガスの排出削減のために、有効かつ効率のよい法規制、および政策の導入を支援する。このような支援は、政策立案者、および／または個人ベース、

あるいは関連産業、および複数のステークホルダーのイニシアティブを通じた、主要なステークホルダーとの協働を含む場合がある